

= 公園の植物 =

## オオイヌノフグリ

(ゴマノハグサ クワガタソウ属)

公園東側の堤防沿いに、少し温んだ陽光をうけて空色の小さな花が咲きはじめた。いち早く春の訪れを伝えてくれているオオイヌノフグリ。名前と実際の花の可憐さとのギャップにちょっとたじろぐが、この残念な名前は、有名な植物学者の牧野富太郎博士の命名によるという。その実が犬の糞丸に似ていることから命名されたと聞き「真面目な命名なんだ」と長年の疑問を払拭。この花は日差しに敏感に反応するので晴れの日でも雲が出ると花は閉じてしまう。花言葉は「忠実」「信頼」「清らか」。

